

## 平成29年度 第1回「熊本市城南児童館運営審議会」議事要録

### 1 開催日時及び場所

平成29年7月25日(火) 14時から15時

場所:熊本市立城南図書館 多目的室

### 2 出席委員

8名

熊本市立隈庄小学校 校長

熊本市南区文化協会 会長

舞原自治会 会長

舞原子ども会 会長

隈庄校区青少年健全育成協議会 会長

熊本市役所 南区役所 城南まちづくりセンター 城南交流室 室長

熊本市立城南図書館・熊本市城南児童館 館長

城南図書館管理運営共同企業体 代表

### 3 議事内容

- 1) 城南図書館・児童館の平成29年度事業計画と近況について
- 2) 夏まつりについて(地域との連携)

### 4 意見交換内容

「城南図書館・城南児童館へ意見等」

#### ■委員A

「夏まつりについては、非常に魅力的な企画がもりこまれていると思う。火の君文化センターとの同時開催で一緒にやるという発想がよい。8/5、6 開催なので学校が終わっているので児童へ周知するのは厳しく、自治会で声かけていただけるとありがたい」

#### ■委員B

「来館者数 63 万人。スタッフがよくがんばっておられる。これだけのプログラムを数人で行っており、エネルギーというか知恵がいかされている感じがする」

「親御さんが一緒になって動くのが非常に効果的だと感じる。パパが前に出てくるプログラムは現代風で非常にいい。母親任せだけではなく、父親も子どもと一緒に遊んで外に出す企画をもっとやって欲しい。児童育成クラブを3校ともやっておられるが、やってもらって当たり前というふうに思っているのではないかと感じた。当たり前ではなく人に感謝することで、世の中、社会がうまくいくのではないかと」

「文化協会もさまざまところで手伝いをさせてもらっているが、『人を育て地域を活性化させる、まちづくりをする』という文化活動理念がよく出ている。いいところには人が集まってくる。そのようなプログラムが図書館児童館ではできている」

「10/22(日)第二回城南町ふるさとまつりを開催予定。火の君文化センターの駐車場で行うが、同時に図書館児童館にも足を運んでもらうプログラムを作れたらいい。せつかくの施設なので、施設案内等チラシの中の一項目に入れてもらったらどうか」

■委員C

「自治会長会議があるので夏まつりのチラシ配布がまだ間に合うので、配布分をもらえないか」

「20日か25日までに出して欲しい」

■委員E

「各地区に掲示板があるので欲しい」

【企業体】ありがとうございます。チラシは準備します。今後広報については各自治会に事前に相談しお願いしたいと思います。

■委員D

「保護者であるが、親子で一緒に利用した事が無い。これを機に利用していきたい。公共の施設なので子どもたちにマナーを教えたい。夏休み中、親がいなくても子どもたちが利用することがあると思うので、施設でのマナーを指導していかなければと思った」

■委員E

「夏休み期間中、小学生は6時には家に帰り着くこと、中学生は6時までになっている。夕方になったら児童館では声を掛けていただいているようなので、図書館のほうでも声を掛けてほしい。自治会長に配布物等をお願いしてもよいのではないかと。コミュニティセンターなどもご活用ください。今年も子ども絵画展をお願いしたい。11/12(日)に展示準備、26日(日)に片付けという予定となっている。よろしくお願いします」

■委員F

「夏まつりを今回初めて同時開催。文化センターでは6日午前中までをメインと考え、仮設に入っておられる方の同窓会的な感じで行う予定。内容は、熊本城の石垣を完成させる、七夕飾りを飾る、4つのアーティストのコンサートである。時間などまい具合に連携して行いたい」

「火の君文化センターは社会教育の学び舎や集いの場と考えている。その中では、近くに図

書館児童館、スポーツ施設があるなど施設的には恵まれている地域ではないかと思う。位置条件を活かした面的なところで意見を出し合ったり、参加させてもらったり連携していきたい。ホールが31年に再開予定であり、それまで使用することは出来ないが、自主講座など開設の準備をしており、元に戻りつつある。いろいろと連携していきたい」

■委員B

「こどもフリーマーケットについて、大人をいれなくて子どもだけで行うところが、学びの場であり心も育つと思う。相手の心を読みながら、心が通じ合うものが出てくる。これを定着させてほしい。出店は何歳から？ 不要なものを売るのはないのでしょうか？」

【企業体】「出店は小学3年生から6年生の高学年です。」「全て現金でやっている。親が見てないところで駆け引きなどして和気藹々とおもしろいなと思う」

「手作りのものや着なくなった服を誰かに着て欲しいということでやっている。保護者はノータッチで、お客さんとのコミュニケーションの中で自ら学びながらいろいろな経験をして欲しい」

■委員B

「杉上小学校と文化協会が連携して、4、5、6年生対象に手芸などの授業を行っている。男の子も興味を持って取り組んでいる。自分の宝物にしたい、作ったものをおじいちゃんにプレゼントしたいなど、環境さえ作れば子どもは育つと思う。そういった連携ができれば面白いと思う」

【企業体】「夏まつりでうまくいけばまた、冬休みや他の施設でも行っていきたい。がんばって形にしていきたい」

■委員A

「来年度から熊本市の小学校は土曜授業を実施する。その授業のときに連携したプログラムなどやりやすいのでは」

【企業体】「今後も、色々と相談しながら連携していきたい。」

以上